

アメリカより

アン・モーア (神戸YWCA 会員)

アメリカ東部のバージニア州からノースカロライナ州にまたがるブルーリッジ・パークウェイ (Blue Ridge Parkway) は、北から南へ 754km、四季を通して美しい景色を楽しめるドライブウェイで、数ある国立公園の中で最も多くの人を訪れます。

その麓にあるノースカロライナ州アッシュビル (Asheville) のブラックマウンテン (Black Mountain) という町に、私たちは引退して住んでいます。山に近いため夏は涼しく、冬は温暖で、台風の影響もなく恵まれた地域です。私が所属する米国南長老教会のカンファレンス・センターや大学もあり、多くの人を訪れる町です。

私たちは以前に、会議や休暇でここに住んだことがあり、このたび長年宣教師をしていた夫の両親の家を継ぎ移り住みました。10 数年前に取材で訪れた韓国・光州のテレビ局によると、この 100 年の間に韓国、台湾、日本、中国などに滞在した多くの米国長老教会宣教師たちが、引退してこの地域に住んでいるのだそうです。ある教会では、教会員の 50 人ぐらいが牧師で、特に日本の神戸、四国、大阪、名古屋などにいた宣教師の方々が今も住んでいます。日本で共に歩いて来た同志と教会の礼拝を守り、一緒に活動しています。

日本では宣教活動だけでなく、YWCA の働きを経験して来ました。最近ミッション委員会で、アメリカでの計画

についての話が出ましたが、「引退する前と変わりません」と答えました。

平和、非暴力、ジェンダー、貧困、女性、子ども、高齢者などの課題は、国を問わずどこにも存在します。ここに落ち着く前に何カ月かカリフォルニア州に住んでいたのですが、そこでもホームレス・プログラムに参加していました。

今暮らしている地域では、キリスト教会が共同で貧困家庭の子どもへの教育、フードバンクなどの支援をしています。最近は大学の留学生やその家族をサポートする働きも始めました。冬休みは寮が閉まり、学生は出なければなりません。それで、私の家庭も留学生を引き受けることになりました。これは、まさに神戸YWCA でやっていた IWA (外国人支援グループ) の活動経験が生かされています。また、ここでもYWCA・YMCA の活動が盛んで、メンバーの方と話したところ、私たちと似た活動を行っています。まだ住み始めて 3 カ月くらいで、活動も始めたばかりです。アメリカなりの問題についても学んでいるところです。

世界では戦争が続いており、また、私が住んでいる小さな町でも、日々の生活に困っている人が多くいます。平和の君なるキリストの降誕を祝うクリスマスに、「地に平和」をと心から祈り、私たちの活動は小さなものかもしれませんが、勇気を持って進んでいきたいものです。

進捗報告会

みんながより生き生きと活動できるように

11月12日(土)、進捗報告会が開催され22人が参加しました。内容は、新組織体制の再確認、各プロジェクト・グループの活動報告、ミッションや組織図・グループ活動のルール変更に関する提案と質疑応答、財政報告でした。

2022年3月の定期会員集会での決議を踏まえ、運営委員会から以下のように提案しました。

(1) 神戸YWCAのミッションは、「多種多様な『つながりづくり』によって、個と集団をエンパワーする」と改めて言語化すること。

(2) 神戸YWCAの委員会・プロジェクト・グループが、神戸YWCAのミッション・ビジョンに沿った活動ができ、誰もが安心して活動に参加することができることを目指して、組織

図の変更およびグループ活動規程の作成を行うこと。具体的には、「平和と人権センター」の各委員会のもとにプロジェクトやグループを置くことで、交流や活動の問い直しを活性化し、また活動の責任の所在は委員会にあると明確化する。

参加した会員からは、「ミッションを明文化することはよいのでは」「グループ間の相談や交流はしやすくなるだろうが、監視的機能が強くなるのが懸念」「委員会・プロジェクト・グループの具体的な動き方が知りたい」「活動のスピード感は担保されるのか」「面白さ・楽しさよりもめんどくささが勝ってしまわないか」等、様々な意見が出ました。

これらの意見を踏まえて、運営委



員会は2023年3月の定期会員集会へ向けて提案の修正を行います。これからも納得感のある会員活動を進めていく運営委員会でありたいと考えています。(福田 百)

◆ 会員の皆さま ◆

次期運営委員・指名委員候補者推薦のお願い

成人会員(18歳以上)の中から、次年度の運営委員・指名委員候補者の推薦をお願いいたします。運営委員の任期は1期2年で連続3期まで再選可能です。指名委員は任期が1期1年で、成人会員から3人、運営委員から2人が選出され、次年度の運営委員・指名委員候補者を選考します。推薦締切:2022年12月28日(水)
(指名委員会)

2023年度 標語聖句募集

来年度の活動の指針となる聖句を募集しています。メール・FAX・郵送などでお届けください。締切:2022年1月7日(土)
(運営委員会)

世界YMCA・YWCA 合同祈禱週

「運動の拡がりに火をともし〜祈りによって〜」

11月13～19日

11月15日(火)、神戸YMCA・YWCA 合同祈禱週礼拝が神戸YWCAでもたれ、オンラインでの配信も行われた。

礼拝では西宮南福音ルーテル教会のネヴダル・クリストファー協力宣教師より、「神の愛が心に注がれている」と題して奨励をいただいた。

かつて神戸YWCA学院で日本語を学んだクリストファーさんを迎えられたことは光栄なことだった。会場・オンライン併せて37人の参加者があった。(宮田 泰子)



まごの手ヘルパー 徒然記

介護の仕事をしていて得られる醍醐味として私がイチオシするのは、仕事中に利用者から多種多様な個人史の数々を見聞きできることだ。

数年前まで訪問していた90代半ばのMさんは、戦後鳥取の農家から兄と2人で大阪に出てきて工場で働き始めた時、職場の先輩から「いいものがある」とヒロポン(覚せい剤?)を勧められ、打ったことがあったと話していた。まだ規制がなかつ

た戦後すぐの時代の話である。

同じく戦後すぐの話では、前回の徒然記にも登場したSさんが、子育てをしていた時布オムツを川で洗濯していたそうで、「冬は川の水が冷たくて辛かった、オムツを干したら凍ってしまったときがあつてねえ」という話をしてくれた。



Nさんは、とある桜の季節に、私が生田川沿いの桜並木の話をしたら、「俺はあまり好きではない」と言って私を驚かせたことがあった。その理由として、生田川沿いの整備のために、当時そこで暮らしていた人々が追い立てられたことがあったのだと教えてくれた。

文字の「歴史」に残らない、その時代を生きた人々の体験や記憶は、宝物だ。私たちの社会をより深く、豊かにみせてくれる。

(まごの手職員・藤井かえ子)

「やさしい日本語」 研修を受けて

外国籍の方も増えている神戸YWCA 保育園では10月18日(月)、職員研修として学院日本語コースの福井講師による講座を受けた。

私は「やさしい日本語」とは、母語が日本語ではない方に伝わりやすい言葉選びの方法だと思っていたが、実際には言語だけでなく、動作などの非言語による工夫を取り入れた対話なのだ気がついた。

興味深かったのは、保育園ならではの留意点。「ふわふわ」等の擬音語は日本語独特の表現で、他言語の方には



伝わりにくく避けるべきだ。けれども、保育の現場では積極的に使うよう推奨された。擬音語は日本語の会話の中でしか学べない。その機会を提供できるのが保育士との会話だそうだ。

保育園には、母語に関わらず、言語習得中の子どもたちがたくさん。擬音語を交えた素敵な日本語でどどん話しかけようと、わくわくしている。

(神戸YWCA 保育園 村越 彩)

声の奉仕

私たちは日本赤十字社兵庫県支部の「兵庫県声の図書赤十字奉仕団」に所属し、視覚障害者のための声の月刊誌「日赤声のアルバム」のCDを作成してリスナーさんに届けています。

月1回、神戸YWCA 会館の会議室で例会を開催して、よりよいプログラムを企画するために話し合いを重ね、その後の勉強会では元アナウンサーを講師にお招きして朗読を向上させるための練習に励んでいます。「声のアルバム」の一部を担当して朗読、録音、編集などに携わりつつ、この春から独自に単行図書『本日のメニューは。』のCD作成に取り組み始めました。できあがったら日赤を通してリスナーさんにお届けする予定です。

コロナ禍のため、毎月発行していた「声のアルバム」が隔月発行になったことと、リスナーさんがいつも楽しみにしている交流会の再開が望めそうにないことは残念です。(河上 婦志子)



佐治孝典さんの思いをつなぎたい

11月6日(日)の午後、「佐治孝典^{たかつね}さんを偲び、語り合う会」を開催しました。15人が参加し、古いメンバーも来られて、再会の喜びを分かち合いました。

佐治さんとの思い出、神戸YWCAでの活動、平和への思いなど、自身の気持ちを一人ひとりが述べ、都合で参加できない方からのメッセージも読まれました。会場には、それぞれの熱い思いがあふれているようでした。

「若い世代の人たちに願うただ一つのこと、私が体験してきたような惨憺たる時代一戦争と欺瞞と裏切りの時代を二度とくり返してもらいたくないことです」という、佐治さんの思いをつなぐことが私たちの使命だと、あらためて思いました。秋の午後の貴重な2時間でした。

(平和活動グループ)

子ども日本語トータルサポート募金

募金期間を2023年3月31日まで延長し、引き続き募集しています。ご支援くださいますようお願い申し上げます。

【募金の使途】

- ・夏休みの「勉強に役立つ日本語」プログラムの運営費
- ・月1回程度開催している「はッピー・さぽーと」「はッピー・すくーる」の運営費
- ・子ども向け日本語ウェブ教材開発

神戸YWCA 夏季募金 報告

募金総額：804,200円

2022年6月27日～9月28日

ご協力くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。

2022年度 神戸YWCA 定期会員集会

2023年3月11日(土)

*詳細は後日ご案内します。

驚たちが川の浅い時に魚を狙ってハシビロコウのようにじっとしている。川上からヌートリアが泳いで来て陸に上がろうとするのが上がれない。体形が大人並のヒナを連れて夜に泳ぐカルガモの親。ぶっかり浮かぶ亀。トンボが水藻に止まる。牛ガエルがウーと鳴いた。

ありがとう。(大石 知世子)

橋のたもとに鳩のカップルが住んでいる。最近ヒナの鳴き声があったので金網越しから覗こうとしたら、威嚇をされて驚いた。秋には川縁にジャンボタニシのキレイな蛍光ピンク色の卵が、縁に人が印をつけたようにあちこちで見かけられる。川では灰色の巨大鯉がゆったりと泳いでいる。冬にはスイミーのように何匹も体を寄せ合って日向ぼっこしている。時折、鵜が水中を猛スピードで泳ぎ、顔を出す。今のご時世 ナカナカ遠くへ行けず、仲間や友人たちともあまり会えない中、職場へ行く道中では沢山の生き物たちが楽しませてくれて、癒しをいただいている。特に道中のドブ川はオススメのスポット! ご案内しましょう。



神戸YWCAへの おさそい

*予定は変更されることがありますので、ホームページ等で最新情報をご確認ください。

●わいわいデイルーム 会館

(神戸市地域拠点型一般介護予防事業)
毎週火曜日、10時～15時
利用についてはお近くのあんしんすこやかセンターにご相談ください。

●カフェもぐもぐ その他

若年性認知症の人と仲間たちのつどい
2023年1月7日(土)、2月4日(土)
10時30分～15時
場所 日本基督教団神戸聖愛教会
参加費 800円(食事付)
要予約、詳細はお問い合わせください。

●木曜カフェ 会館

12月8日、22日、2023年1月12日、26日
(第2・4木曜日)、13時30分～15時30分
レコードで懐かしい音楽を聴きながらほっこり
しませんか？(1ドリンク100円～)

●声の奉仕 会館

視覚障がい者のためのデジタル図書づくり
12月27日(火)、2023年1月24日(火)
13～16時(第4火曜日)
参加費 600円/月(YWCAの会員になることが必要。年会費12,000円)他に日赤団費1,000円/年
講師 酒井茂樹さん(元NHKアナウンサー)

●神戸YWCAクリスマス 会館

12月3日(土)13時30分～15時
メッセージ 古澤百代さん(日本基督教団神戸東部教会牧師)
みんなの祈りをつなぐリタニー(連祷)とクリスマスマーケット

●冬のガレージセール 会館

12月10日(土)10時～12時(小雨決行)
子ども・おとな服、手づくりの小もの、食器、クリスマス雑貨とお菓子、蜂蜜、ホットドリンクなど



冬季 クリスマス 募金

にご協力ください

郵便振替

01100-0-10298
公益財団法人神戸YWCA

*通信欄に「冬季クリスマス募金」とご記入ください。

他の寄付方法も
お選び頂けます。
詳しくはHPを
ご覧ください→



2022年度上半期財政実績報告がされた。2023年度予算作成の方針および作成方法について協議、承認した。また、冬季クリスマス募金実施について承認した。

(総幹事・西本玲子)

■ 賛助員

上 紀子 釜田 睦子 篠原 悦子
島本 健二 (敬称略)

■ 編集後記

冬の寒さを前に、穏やかな美しい紅葉の中をひと時、歩ける幸せを実感しています。

(S・T)

冬季 休館

2022年12月29日(木)～2023年1月5日(月)まで(まごの手・保育園を除く)

■ 学院だより

日本語教師養成コースでは11月7日(月)、雲中小学校PTAと雲中ふれあいまちづくり協議会が主催する「やさしい日本語勉強会」を担当しました。参加者からは、必要な人に出会ったらどんどん実践したいという感想が多数寄せられました。日本語が母語でない外国人保護者を地域でサポートしようという気持ちが伝わってくる勉強会でした。(学院長・西本玲子)

■ まごの手だより

「居宅介護支援」は、現在60件(うち予防13件)のケアマネジメントを実施。「訪問介護」は、9月は「高齢者のリハビリテーション」をテーマに理学療法士の井澤輝英さん、11月は「高齢者の薬」をテーマに有川沙也香さんを講師に迎えて研修を実施した。12月は「8050問題」について学び、ヘルパー交流会を予定している。利用者数

は延べ150人。「生活支援わいわい」のメンバー登録数は23人。10～11月は11件の利用があった。「居住支援」は、10～11月、新たに5人から入居前相談を受けた。11月20日現在、支援継続4人。入居実績は7件。(所長・寺内真子)

■ 運営委員会報告

10月8日、第8回運営委員会開催(ハイブリッド)、出席7人。【報告】●理事会●日本YWCA●会員活動【議事】●会員活動の来年度予算の策定方針●進捗報告会における運営委員会からの提案内容●進捗報告会のプログラム内容●YWCAフェスタ参加の運営委員の参加費補助
11月12日、第9回運営委員会開催(ハイブリッド)、出席5人。【報告】●理事会●日本YWCA●会員活動【議事】●進捗報告会の進め方●日本YWCA主催「バーチャルde地域YWCA訪問」の神戸YWCAの紹介内容とこども

いいんかいの関わり方●2023年度神戸YWCAビジョン・活動目標●2022年度定期会員集会の内容とタイムスケジュール●2023年度会員活動における予算作成の進め方(書記・福田百)

■ 理事会報告

11月5日(土)、第6回理事会。出席理事7人、監事2人。

神戸YWCA創立100周年記念誌 『神戸YWCA100年のあゆみ』

100年前、クリスチャンの女性たちによって神戸で生まれたYWCAの働きは、女性の自立と平和を求めた運動でした。戦争、震災の苦難をも転機に、「だれもが大切にされる平和な社会」を求めて。神戸YWCAの歩みを年表と写真で紹介する100年史。

頒価 1,000円(送料別)

以下のフォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/kFjS8jRRZYjiXsAu5>



ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給198,100円～
パート 時給1,100～1,200円
登録型 時給1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



よい てん ご く
0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町2丁目13-2

URL: <http://sanosousai.com>